

平成19年度(2007年度)
上山市民俗行事「カセ鳥」概要

1.由来と経過

「カセ鳥」行事は、全国に渡って分布例があり、昔から旧暦の小正月に、今年一年間の豊かさを祝う行事として行われております。

上山においては、農業用水をはじめ商工業の「水」に由来して、「稼ぎ鳥」や「加勢鳥」の字が当てられ「御前カセ」と「町方カセ」がありました。特に、江戸時代の城下町大火以来、火伏せの行事として、火防の縁起と称し、各家庭では、手桶を用意し、「カセ鳥」の頭から水を浴びせて火難を防ぎ、また、水商売をしている店では、水にあやかり、商売繁盛を願うという上山独自の発展をみております。

この行事は、古くから行われておりますが、「御前カセ」は、寛永年間(1620年代)から始まったと言われております。藩政が終わっても、「町方カセ」は、明治29年(1896年)まで続いたのですが、その後、途絶えてしまい、昭和34年(1959年)、市内の有識者の方々のご尽力により復活し、また、昭和61年(1986年)より、保存会が結成され、毎年2月11日(建国記念の日)、年に一度の一般披露の本行事が実施されております。

2.主催 上山市民俗行事「カセ鳥」保存会

3.期日 平成20年2月11日(月・建国記念の日) [市内巡行時間帯:10:30~15:00]

4.出演者(「ケンダイ」着用者)

上山市民俗行事「カセ鳥」保存会員及び一般参加有志(全国各地に居住)

5.協力団体 上山市・上山市観光協会・(財)上山城管理公社・上山市消防団・中十日町地区会
 かみのやま温泉旅館組合・かみのやま温泉葉山旅館組合・(社)上山青年会議所
 上山火勢太鼓振興会・上山地区タクシーハイヤー協議会・山交バス(株)上山管理センター
 上山市観光ボランティアガイド協会・赤堀つる叟社中

6.順路行程及び概ねの時間帯

| | | | | | |
|---|------------------------|-------------------------------------|--------------------------------|----------------------------------|--|
| 9:30 集合 <上山城正門前広場> | 10:00~10:30 祈願式 | 10:45 上山城正門前広場 | 11:00 十日町通り | 11:05 下十日町交差点 | 11:15 《本隊》新丁坂下交差点 <往路は車で移動>*折り返し<下十日町交差点より車> 11:30 湯町地区(旅館街) |
| 11:40~12:00 新湯地区(旅館街) <「月岡ホテル」で合流> | 12:10 新湯通り | 12:20 二日町交差点 <「ジョブリングプラザカミ」前> | 二日町通り(八幡神社前) 《本隊》二日町通り(矢来橋) | 石崎町通り <いしざきA-1>*折り返し 矢来一丁目 | 駅前通り 駅前通り |
| 12:40 JRかみのやま温泉駅 | 12:40~13:30 【昼食・休憩】 | 13:30 JRかみのやま温泉駅 | 《本隊》<車で移動> <車で移動> | 八日町通り(富川橋) 郵便局前通り | 高松地区 河崎地区 石崎町通り <いしざきA-1 河崎交差点>*河崎交差点より車 |
| 13:40~14:40 《本隊》高松地区・葉山地区(旅館街) <三木屋・寒河江屋・橋本屋・葉山館・三恵・まるみ・古窯> | <車で移動> | | 14:45 消防署 | 14:50 警察署 | 15:00 南町地区 <SCヤマザワ上山店> |
| 13:40~14:40 河崎地区・葉山地区(旅館街) <ふじや・いしやま・名月荘・時代屋・静山荘> | <車で移動> 橋本屋」で合流 | | | | |

【配列順序《本隊》】



【カセ鳥形態図】

*警備員 カセ鳥 カセ鳥 カセ鳥 カセ鳥 カセ鳥 *警備員

車 道

*警備員 カセ鳥 カセ鳥 カセ鳥 カセ鳥 カセ鳥 *警備員